介護新聞

2025年（令和7年）4月25日　毎週金曜日発行

発行所 株式会社北海道医療新聞社 ☎011(221)7777
〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目（北海道医師会館）
年間購読料＝定価19,800円（税込）

主な記事
2面…ネクストイノベーション、現場発の業務効率化アプリ商品化
3面…千歳市介護予防センター、予約制で無料介護予防測定・相談
8面…小樽・アクティブスタジオＫＴラボ、姿勢計測、個別機能訓練反映

まちの保健室×おでかけぷらす

□かんごぷらすなど４社共同□

地域包括ケア実証プロジェクト初実施

札幌市南区

高齢者外出支援、健康相談機会創出に期待

札幌市立大発ベンチャー・かんごぷらすなど4社は共同で予約制無料乗り合いワゴン車を運行し、高齢者を自宅から心や体の相談をできる「まちの保健室」などに送迎する「まちの保健室×おでかけぷらす　地域包括ケア実証プロジェクト」を札幌市南区で初めて行った。5日間の実証実験を経て、自宅にこもりがちな高齢者の外出、健康相談を受ける機会創出などにつながると期待する。

実証プロジェクトは訪問看護ステーション乗り合いワゴン車を使った外出サポートと、気軽に健康相談できる場の提供を併せて行い、高齢者の社会的孤立解消、健康維持が目的。

企画した、かんごぷらすの中田亜由美社長（看護師）は「健康管理は個人に委ねられており、知識不足から生活習慣病や要介護状態になるケースが後を絶たない」と指摘し、日常生活に寄り添った自分らしい暮らしを送れる支援の形を考えた。

中田社長は、白十字が2011年に厚生労働省の在宅医療連携拠点事業モデルとして開設した「暮らしの保健室」をはじめ、国内外の先進的な地域包括ケア事例を参考事例とし、前職の札幌市立大勤務時に同大キャンパス内で「まちの健康応援室」を設置。その後、同社を設立し、独自の健康支援を目的とした外出支援サービス「おでかけぷらす」と連動させた地域包括ケアモデルの実証に至った。

「まちの保健室」は、日本看護協会が01年に提唱した地域モデル。同社のほか、ＩＣＴベンチャーの未来シェア、ＵＲ都市機構、イオン北海道の4社が実施主体となり共同事業を考案。公共交通の利便性向上、地域の抱える課題解決手段としてＭａａＳ（自家用車以外の全ての交通手段）普及を推進する24年度国土交通省「共創・ＭａａＳ実証プロジェクト」採択を受けて実施した。

期間は2月上旬の5日間、事業費約200万円。同市内で高齢化率の最も高い南区石山・真駒内地区を中心に、事前予約のあった高齢者自宅前から、▼ちづくりセンター▼イオン札幌藻岩店▼市営地下鉄自衛隊前駅▼同真駒内駅―を乗り合いワゴン車が周回。まちの保健室では看護師、保健師による健康相談、健康講話などを行った。

自宅まで送迎する乗り合いワゴン車に乗り込む高齢者

運行した車いす対応ワゴン車2台には、看護師、認定作業療法士らが同乗し、介助の必要な利用者の乗り降りをサポート。乗車予約は、ＡＩが最適な運行ルートを自動設定する、未来シェア開発アプリ「ＳＡＶＳ（サブス）」で受け付けたほか、スマートフォン操作のできない高齢者用電話窓口も設けた。

実証プロジェクト5日間の利用状況は、住民向け説明会開催、パンフレット配布などで周知した結果、乗り合いワゴン車に延べ52人乗車し、まちの保健室利用者は近隣徒歩参加者も含め延べ64人。参加者アンケートでは、9割超が「（実証プロジェクトの取り組みが）外出のきっかけになった」「1年ぶりに地域の商業施設へ行けた」などの回答が目立った。

自宅に引きこもりがちで歩行に不安のある70代男性が、まちの保健室で認定作業療法士による身体チェックを受け、自宅でできるセルフケア指導、介護認定申請をアドバイスされるなど、寝たきりリスク早期発見・予防につながった例もあったという。

中田社長は「外出支援に加え、健康相談を受ける機会提供の相乗効果で、利用人数が伸びた」と分析。需要について手応えを感じた一方で、高齢者にとってアプリ予約の難しさといった課題も見えたといい、25年度も同市内で実証プロジェクトを行う予定。

無資格者への認知症基礎研修

新規採用者は1年間猶予

厚労省がQ＆AVol.14

厚生労働省は2024年度介護報酬改定に関するＱ＆ＡＶｏｌ．14を公表した。全サービスの医療・福祉関係資格を持たない従業者に義務付けられている認知症介護基礎研修の経過措置期間について、「新卒採用、中途採用を問わず、新たに採用した対象者は、採用後1年間の猶予措置を設けている」と回答している。

母国語が日本語以外の人を対象にした、同研修教材には英語、ベトナム語、インドネシア語、中国語、ビルマ語、タガログ語、ネパール語があり、日本語能力試験Ｎ4レベルを基準とした教材も整備。認知症介護基礎研修eラーニングシステム（認知症介護研究・研修仙台センターホームページ）で見られると周知した。

認知症グループホーム、施設系サービスに新設された認知症チームケア推進加算で求められているワークシート作成に必要な「チェックリストを用いたインタビュー」のチェックリスト入手場所を、同省は認知症チームケア推進研修ホームページにある研修動画視聴ページにテキスト、ワークシート、ＢＰＳＤ25Ｑシート、チェックリストが掲載されており、ダウンロード可能とした。

東京都開発の日本版ＢＰＳＤケアプログラムアドミニストレーター養成研修修了者は、認知症チームケア推進研修修了者とみなすことも示した。

日中サービス支援型 共同生活援助
障がい者グループホーム・障がい者ショートステイ 蜜柑（みかん）
JR『稲穂駅』より徒歩3分
費用（グループホーム・建物賃貸借方式）
●家賃（月額）：36,000円（低所得者補助10,000円あり）
●食費（月額）：33,000円（朝300円・昼300円・夜500円）
●金銭管理費：3,000円（入所人数で分割、20,000円前後）
●光熱水費・共益費：実費
●障がい福祉サービス料：無料～1割
■ TEL:011-688-7808　FAX:011-688-7817

入居者募集中
障がい者グループホーム 葡萄（ぶどう）
地下鉄東西線 宮の沢駅 徒歩約8分　コンビニも近くて便利！
◆障がいをお持ちの方が入居できます。
◆完全個室 ※トイレ・キッチン・浴室は共同となります。
◆費用／月額・家賃 36,000円
・食費（朝300円・夜500円） 24,000円
・共益費 実費
●障がい手帳をお持ちではない方も入居可能な場合もございます。入居をお考えの方はご相談ください。
■ TEL:011-688-6122　FAX:011-688-8587

外国人技能実習生・特定技能受入事業
当組合は、東南アジアを中心に日本の介護現場に即戦力となる、外国人技能実習生（介護）や特定技能の教育に力を入れており、各施設から高い評価を受けております。
組合に加入していただくと、我々が責任を持って雇用外国人に対して無料で日本語教育を行います。
札幌介護事業協同組合　TEL:011-207-4185　FAX:011-522-6673

秀欧会福祉サービス株式会社［本社］
〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目 S310ビル
TEL:011-522-6664 FAX:011-522-6673

おかげさまで25年 信頼と真心で応えます
株式会社ASUKA（あすか）
介護用品・福祉機器のお求めは長い実績のある当店へお気軽にお問い合わせ下さい
決算在庫処分セール！
5/22(木)・23(金)　9:00～17:00
中古品通常価格より更に2～3割引
●自走・介助車いす　在庫80台　¥10,000～
●チルト・リクライニング車いす　在庫25台　¥40,000～
●電動車いす　在庫15台　¥80,000～
●各種歩行器・4点杖　在庫30台　¥2,000～
新品・中古品でも 介護用品 福祉機器 病院施設備品
全品保証付 自助具 消耗品 シューズ 床周り 衣類 おむつ 入浴用品
お問い合わせ ☎011-370-3855
FAX 011-370-3850
北広島市大曲824番地55〈仁別線沿〉
https://www.kaigo-recycle.skr.jp/